

石油ストーブによる火災に注意！！

東日本大震災以降、停電時対策として反射式石油ストーブ、石油こんろ（通称：サロヒーター）を使用している家庭も多いのではないのでしょうか。

当消防本部管内においても毎年石油ストーブ等を起因とした火災が発生していることから、下記の項目に注意して正しく使用しましょう。

○ストーブの周囲は整理整頓！



- ・燃えやすい物（カーテン、布団等）の近くでは使用しない。
- ・ストーブの上では洗濯物を乾燥させない。

○給油は、必ずストーブの火が完全に消えてから！



- ・燃料キャップの締め付けを確認する。
 - ・灯油であることを確かめてから給油する。
 - ・こぼれた灯油はしっかりふき取る
- ⇒消えてもまだストーブ内の温度が高いので、燃料がこぼれたりすると火災になる恐れがあります。

○こまめな消火の心がけ！



- ・部屋に誰もいなくなるときには、ストーブを消す習慣をつける。
- ・ストーブを点けたまま寝ない。

古い型式の石油ストーブ等には、自動消火装置が付いていないものや給油キャップの締め付けが確認しにくい、又はリコールの対象になっている製品があります。

地震、誤給油、異常燃焼等による火災を防ぐためにも使用前に製品を確認し、なるべく自動消火装置付きのものを使用しましょう。

また定期的に点検・清掃を行い、使用中に異常を感じたら近くの取扱店で点検をしてもらいましょう。



問い合わせ先：鶴岡市消防本部予防課

TEL：22-8332 FAX：22-0119